



ほけんだより

三郷市立北中学校
保健室
平成 28 年 6 月 17 日

梅雨入りが発表され、10 日以上が過ぎました。この時期はお天気によって気温の変化が激しいので、体調を崩しやすくなります。夏のように暑い日もあれば、雨が降って急に肌寒くなる日も。衣服の調整を上手にするなど体調管理に注意してください。

また、食中毒が発生する時期でもあります。衛生に気をつけて元気に過ごしましょう。



歯科健診が全日程終了しました



むし歯があった人は、歯科医さんを受診していますか？ 部活・勉強と日々忙しいと思いますが、夏休みが終わるまでには治療が完了するように計画的に受診をしましょう。

8月31日までに治療を済ませよう！

3 年生は中学卒業後、治療費が有料になります。今年度がラストチャンス！大事な受験期に歯が痛むことがないように、しっかり治しましょう。

むし歯治療率

目標 100%!

むし歯治療率は、まだ

わずか・・・ **7.1%**

むし歯があった人

1年生 108人
2年生 26人
3年生 62人



治療が済んだ人 (H28. 6. 16 現在)

1年生 10人
2年生 4人
3年生 0人



北中学校は永きにわたり、「むし歯処置歯率」が70%を超えることがなく、むし歯処置歯率の向上を健康課題として取り組んできました。昨年度念願の80%を超え(80.7%)、学校歯科保健優良校コンクールにおいて、「努力校」を受賞することができました。今年度は100%を目指します。保護者の皆様のご協力をお願いします。

蚊が増える季節です・・・対策をしましょう



【蚊(ヒトスジシマカ)】

背中に1本の白い線とW字状の模様がある4.5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動し、昼から夕方にかけて吸血します。

「ジカ熱」や「デング熱」はこの蚊に刺されることで感染します。

「ジカ熱」

日本では国内での感染は、現在のところ、確認されていませんが、平成28年5月までの間で、海外で感染した日本人が、帰国後に国内でジカウイルス感染症と診断されたケースは9例あります。ジカ熱の流行地域と日本の間では、多数の人が仕事や観光などで往来しているうえ、平成28年8月5日からは、ブラジルで「2016年リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会」が開催され、さらに多くの日本人が流行地域と日本を往復するとみられます。

「デング熱」

海外の流行地(日本に近いのは台湾)で感染し帰国した症例が、近年では毎年200人前後報告されています。日本国内で感染した症例は過去60年以上ありませんでしたが、2013年には、日本で感染したと思われる症例が報告されました。2014年8月以降、代々木公園周辺にて関連する患者の発生が報告されています。デング熱に感染しても一般的には1週間前後で回復すると言われています。まれに患者の一部に出血症状を発症する重篤な状態になる場合があります。

「デング熱」の症状

- ・感染しても、発症頻度は10～50%。
- ・突然の発熱・激しい頭痛・目の裏の痛み・関節痛・筋肉痛・発疹が現れる。
- ・潜伏期間は3日～7日。
- ・まれに重症化して、デング出血熱やデング症候群に移行する。



●蚊に刺されないようにしましょう!

外に出るときは、できるだけ肌を出さないようにし、虫よけ剤を使用しよう。

●身のまわりで蚊の発生を抑えよう!

ヒトスジシマカは小さな水たまりを好みます。植木鉢の受け皿や放置されたペットボトル・空きビンの水たまりをなくしましょう。

よくわからないと不安が先立ちます。正しい知識を持つことが大切です。裏面に資料を載せましたので、ご覧ください。さらに詳しく知りたい人は「ジカ熱 厚労省」「デング熱 厚労省」を検索し調べてみましょう。